
はじめに



近年の社会情勢を取り巻く状況は、人口減少や少子化・超高齢社会の到来により、地方での雇用創出、地方への新たな人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育て支援、時代にあった地域づくりを目指すための「地方創生」が叫ばれております。

また、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）をはじめ、今後の進捗が期待される地域高規格道路茂原一宮道路（長生グリーンライン）の整備促進による道路ネットワークの拡充や、急速に普及している太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用をはじめとした、地球温暖化対策としての低炭素社会のまちづくりなどが進められています。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による地震・津波対策や平成26年8月20日に発生した広島市での大規模な土砂災害による防災・減災への意識は、年々高まっています。

町でもこのような社会情勢に対応したまちづくりを進めるため、都市計画の基本方針である本都市計画マスタープランを策定し、「心地よい暮らしと文化がいきづくまち」を目指していきます。

この都市計画マスタープランでは、コンパクトな集約型都市構造（コンパクトシティ）を形成し、地域資源の活性化、子育て・高齢者等の生活利便性の向上、自然と調和した都市環境・景観づくり、災害等に強い安心・安全な都市づくりなどを目標としています。

また、目標達成においては、都市計画に係る施設整備のみだけでなく、土地利用における産業観光、教育福祉、防災などの分野も幅広く記載しており、今後の町の政策推進に活用できるものとなっています。

そのため、より多くの町民の皆様が、本都市計画マスタープランをご覧になり、ご理解を深めていただき、官民連携による協働のまちづくりを進めてまいりたいと思います。

最後に、本都市計画マスタープラン策定にあたり、貴重なご意見やご提言を賜りました町民の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成27年3月

一宮町長 玉川 孫一郎
